

例会報告

Rotary

高山西ロータリークラブ



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
9 月 名古屋城 ① 新井 典仁

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

<会長の時間>

粉飾決算とメイクアップ

粉飾決算とメイクアップについてお話ししたいと思います。粉飾決算の具体的な話は又の機会にして総論的な話をしますと、粉飾決算とは、ご承知のように会社の利益を多くして実態以上に会社の状況をよく見せることです。右上がりの経済の時は若干の粉飾決算を行っても、のちに業績が回復し利益を取り戻すことが可能でした。粉飾も解消します。右下がりの経済、今の時代のような時はなかなか利益を取り戻せず粉飾を繰り返すこととなります。

粉飾決算の主な動機としては会社が金融機関・株主・利害関係者等からよく見られたい。会社を守りたい、あるいは経営者としての地位を守りたい、だと思います。私は幸いお客様に恵まれて、大きな粉飾に会うこともありませんでした。もし、わたしが会社経営者から「会社を潰したいのか」と問い詰められるならば、4つのテストを胸に経営者と向き合うことになると思います。

日本語では粉飾とは粉で飾るという意味でお化粧をイメージします。お化粧と関係あることばとしてメイクアップがあります。メイクアップ “makeup” = 「お化粧」と意味になります。私は長い間ほかのクラブへ出席することをメイクアップと思っていました。自分のクラブ例会を休むから、他のクラブへ出席する、出席の化粧、粉飾とである、と思っていました。やっと最近気が付きましたメイクアップは “make up” = 「穴埋めをする」「補てんする」などの意味があります。ロータリーはこっちだ、こちらだと気が付きました。

8/7に開催されたクラブ奉仕委員会で入会歴の浅い会員にはメイクアップの仕方がわからない、だから会長・幹事が高山の他クラブへ一緒に行き、紹介することが大事との発言がありました。私も入会当初、他クラブへ出席するには勇気がいりました。行けば皆様やさしく迎えていただきましたが、メイクアップに行きたいが行きにくい方がみえましたら会長幹事にお声をかけてください。ご一緒に



<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	32名	4名	36名	39名	92.31%
本日	34名	—	34名	40名	85.00%

<本日のプログラム> ロータリー財団委員会

ロータリー財団委員長 田近 毅

本日は、地区ロータリー財団部門補助金小委員会副委員長の堀部 哲夫 様にお越しいただきました。

来期の事業実施のためには、今期中に補助金申請をしなければなりません。補助金の仕組みを良く理解して、どのような事業を行うか検討すべくお話しいただきます。

では堀部様の略歴をご紹介します。1950年（昭和25年）8月11日のお生まれ。金属加工業の(株)シズテック 代表取締役社長でいらっしゃいます。ロータリー歴としては、1997年1月に關ロータリークラブに入会され、2009年・10年度の会長を務められました。2013年7月に地区ロータリー財団部門補助金小委員会 委員となり、翌2014年7月には副委員長となられ、現在に至ります。堀部様、どうぞよろしくお願ひ致します。



国際ロータリー第2630地区

ロータリー財団部門補助金小委員会 副委員長 堀部 哲夫 様

本日は「地区補助金の使い方」と地区の目標であります「EYREY150」について話させていただきます。

「補助金の申請は難しいのではないかと？」「もっと簡素化してほしい」と言う意見が多くあります。地区補助金の申請は全く難しいものでは有りません。本日は、是非、地区補助金の申請は難しくないとすることをご理解頂きたいと思ひます。

<幹事報告>

◎国際ソロプチミスト高山より

・新事務局のご案内

(2017年9月~2018年8月)

〒506-0009 高山市花岡町3-88 山下 和子(会長)

◎高山市都市提携委員会より

・友好都市提携35周年記念 越前市市民ツアーの開催について

日時 10月19日(木)~20日(金) 参加料 20,000円

<受贈誌>

社団法人高山市文化協会(広報高山の文化No192)



ロータリー：変化をもたらす

例会報告

それでは、まず簡単に地区補助金制度のおさらいをします。13年—14年度から新しい補助金制度がスタートしています。未来の夢計画と題した補助金制度です。この制度は、次の五つの優先事項を目的としています。

1. プログラムとその手続きの簡素化

過去の補助金は、大変複雑で使いづらいものだったそうです。それらをまとめて使いやすくしたのが、未来の夢計画と題した新補助金制度です。この制度では、補助金のスタイルが地区補助金、グローバル補助金の2種類に絞られています。一番変わったことは、資金の出どころを統一したこと。授与と受諾条件を共通化した事です。

2. 次に、ロータリアンによる奉仕活動に的を絞っています。

社会のニーズに応える事、ロータリアン自ら汗を流して奉仕活動することに重点を置いています。活動することがクラブを活性化させ、会員増加につながります。

3. 地元と海外の両方の奉仕活動を支援します。

補助金は国内の事業でも海外の事業でも使うことができます。グローバル補助金は、地区外のロータリーと共同提唱が受諾条件になっています。

4. 地区の決定権を広げる。

地区補助金の決定権はほとんど地区にあります。地区R財団の承認ではば補助金は決まります。

グローバル補助金については、地区の承認を得て、クラブが直接RIに申請します。最終決定はRIがします。

5. ロータリアンの公共イメージの向上

ロータリーに入会する動機の70%は「社会貢献をしたい」と言うことです。地区補助金を利用してメリハリのある奉仕活動をするによりRCの知名度を上げることが出来ます。

次に、皆さんが財団に寄付したお金がどのような流れで補助金として帰ってくるのか見ていきましょう。財団の寄付はポリオの為だけに有るわけではない事をご理解ください。

まず、ロータリアンから財団への寄付には3種類あります。年次基金寄付（EREY、ポールハリスフェローがもらえます）と恒久基金寄付（ベネファクターとして認証）、使途指定寄付（ポリオもその一つです）です。使途使命寄付はポリオ以外にも色々あります。平和フェロシップなどに多く寄せられます。

地区補助金の原資となる財団寄付は年次基金寄付（EREY）です。皆さんからの年次基金寄付は、3年間財団で運用されます。3年後その元本はすべて補助金の原資となります。運用益は財団の運営費に廻ります。

恒久基金も毎年運用され、その運用益の50%が補助金の原資として加えられます。こうして作られた補助金の資源は50%をDDF（地区財団活動資金）として地区に割り当てられます。残り50%はWF（国際R財団活動資金）に行きます。WFには、他に恒久基金の運用益の50%が行きます。

地区は、このDDFの内、50%まで地区補助金として使用することが出来ます。残りのDDF（50%）はグローバル補助金として使うことが出来ます。グローバル補助金事業には、WFから同額の補助金が出ます。

R財団寄付金は3年後にクラブは使用することが出来ると言うことです。年次寄付はクラブの事業資金の積み立てだと思ってくださいと言われる所以です。

次に、地区補助金とグローバル補助金について説明します。

地区補助金は地域や海外を問わず、人道的プログラムでも、奉仕プロジェクトでも使用でき、比較的小規模なプロジェクトに使用するものです。地区の権限で支給することが出来ます。

支給額は、各クラブの3年前のEREYにより地区が定めた支給割合によって決定します。必要条件是ロータリアンが自ら行うプロジェクトであること。単に、他の団体の事業への相乗や寄付行為を禁止しています。

次にグローバル補助金です。これは、金額が大きい補助金になります。使用できるのは、6つの重点分野に限られます。平和と紛争予防・紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展、のどれかに当てはまる必要が有ります。そのプログラムの成果が持続することと、成果が計測されなければなりません。

実施国のロータリークラブと他地区のクラブと共同の提唱になります。補助金はDDFとWFの両方から出ます。2630地区では中津川ロータリーがこの補助金を利用しました。プロジェクトの内容は、中津川市の姉妹提携都市のブラジルレジストロ市の新生児の死亡率が高いことに目を付けて、病院に医療器具を送るものです。16万ドルの事業になりました。

地区補助金の支給規定は地区R財団員会で決めます。現在は3年前のEREYの数値に対して4つの規定を設けています。EREY100以下の場合、100~150の場合、150~200の場合、200以上の4通りです。

クラブの資金だけでは10万~20万くらいの事業費しか出ないところが、30万~50万の事業を行えるわけですから、地域のロータリー評価も上がることでしょう。会員が増える原動力につながります。

さて、補助金を利用しようとすると、複数年にわたる活動になってきます。使用する補助金は3年前のEREYによって決まります。3年後に大きな奉仕プログラムを予定すれば、その前にEREYを上げておく必要が有ります。申請は、実施年度の前年度です。会長ノミニ、エレクトの時から企画して行く必要が有ります。

毎年、財団はセミナーを開催します。セミナーに出席した人が補助金申請してください。申請する人がセミナーに参加して勉強してください。ロータリー財団員会が申請することが望ましいでしょう。そして、地区補助金を利用した活動が定着すれば、EREY150以上もメンバーにご理解いただけると思います。年次基金寄付はクラブ事業費の貯金です。ご理解ください。

一番大切なことは補助金を使ってどんな事業をするかと言うことです。毎年、必ずあるのがこの〇〇周年事業の申請です。〇〇周年事業は認められません。〇〇周年にたまたま事業が重なったと言う姿勢をお願いします。地域ニーズに対応した事業、普段のロータリーに求められる事業に補助金を出します。

継続事業も認められません。地域のニーズを掘り起こすことが大きな狙いです。（23・34の決議文参照）そこで、新しい事業に補助金を出すこととなります。地域のニーズに即した事業を考えてください。RCだから出来ること。RCでしかできないこと。

過去の申請の中で評価の高いものと低かった例をお話します。評価の高かった事業の一つは、小学生タグラクビー教室です。市や地域が普及させたくてもなかなか普及しません。理由は、各小学校に道具が十分移ない。指導者がいない為に、学校でタグラクビーを教えられない。そこで、RCが小学校にタグラクビーの道具を配布し、ラクビー協会や全国屈指の大学ラクビー部の選手を呼んでタグラクビーの教室を開きました。

他方、評価が低かったのは、同じようなスポーツ教室を企画しましたが、内容は青少年の為にゴルフ教室を開催するものでした。ゴルフ教室は、多くの練習場で行われています。RCがどうしてもやらなければならないことでしょうか？ロータリアン

例会報告

が自ら汗を流す企画をしてください。スポーツ教室のライン引き、草刈りなどの会場設営や、ロータリアン自ら講師を務めるなどが考えられます。贈呈式や例会参加はロータリアンの参加とは認められません。他団体の主催する事業や資金を出しているプロジェクトは対象になりません。

TRF は EREY150 を要求しています。地区もこれを支持しています。当 RC は素晴らしい EREY を出しておられます。是非、継続ください。地区補助金を使って RC らしい事業を増やしていくことが、RC の知名度を向上させ、会員を増やすことにもつながります。

RC に入る動機として一番多いのは地域社会に貢献したいことだと思います。RC は地域社会に貢献していることを認知して頂ける事業を展開する為に地区補助金を利用してください。年次基金寄付はそのための貯金だと考えてください。

それから、地区補助金に慣れたら、その上のグローバル補助金事業に挑戦してください。複数年の企画になります。一緒にやってくれる地区外の RC を見つけることから始まります。姉妹提携なども事前に必要かもしれません。2630 地区では、まだ中津川 RC さんの 1 例だけです。本年度は 2・3 予定が有るようです。当 RC でも是非お願いします。

地区補助金は、申請すれば概ね支給されると思います。クラブによっては、「その申請書が難しいだろう」と言われますがそんなことは有りません。まず、出してください。間違とところが有れば、こちらから訂正依頼をします。特に注意しなければいけないことだけ少し述べます。

1. 申請書はできるだけ詳しく具体的に書いてください。「いつ、どこで、誰が、誰に対して、どのようなことを、どのようにして、どのくらいするか」書いてください。
2. 財団の使命に関係する理由を書いてください。地域社会の発展とか、教育などはどんなプロジェクトでも当てはまると思います。
3. 絶対にしっかりやってほしいのが予算書です。全然、見積もりも取っていない予算がまま有ります。想像で予算書を書くのではなく、根拠のある予算が求められます。しっかりした見積もりなしに申請すると後で困ります。
4. ロータリーが地域の真のニーズ事業を取り上げた事業に補助金を使ってください。
5. 報告書は申請書を書いた人がご担当ください。

以上、ご静聴有難うございました。



<ニコニコボックス>

●地区ロータリー財団部門補助金小委員会副委員長 堀部 哲夫 様
本日、地区補助金についてお話させていただきます。充分なお話しが出来るかわかりませんが、よろしくお願ひします。

●東京世田谷ロータリークラブ
高田 修さん

R I 2750、東京世田谷 RC よりお伺いをさせていただきました。夏休み中の旅行中ゆえ、こんな恰好で失礼いたします。皆様宜しくお願ひ致します。



●高山ロータリークラブ 早川 宏治さん

本年度もお世話になります。よろしくお願ひ致します。

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

国際ロータリー第 2630 地区ロータリー財団部門補助金小委員会 堀部 哲夫副委員長、ようこそお出で下さいました。ご指導よろしくお願ひします。東京世田谷 RC 高田修さん、高山 RC 早川宏治さん、ようこそお越し下さいました。

●田近 毅さん、門前 庄次郎さん

国際ロータリー第 2630 地区ロータリー財団部門補助金小委員会 地区補助金担当 堀部 哲夫副委員長のご来訪を歓迎致します。ご指導よろしくお願ひします。

●田中 正躬さん

国際ロータリー第 2630 地区ロータリー財団部門補助金小委員会 副委員長 地区補助金担当 堀部 哲夫 様のご来訪を歓迎致します。財団を活用した活発な活動が出来ればと考えています。よろしくお願ひいたします。

●井辺 一章さん

昨日まで 3 日間妻と共に新潟へ行って来ました。夜は一人で飲みに行きましたが、何か景気が悪い感じがいたしました。

●阪下 六代さん

ニコニコの材料はありませんが、久々の夏を思い出させるような好い天気を賞でて、とりあえずニコニコします。

●折茂 謙一さん

皆様ご心配をおかけしています。私にとって人生最大の悪運に思えますが、後になって神からのビックプレゼントになると期待しています。本日は早退します。

●田中 武さん

本日は早退しますのでよろしくお願ひいたします。

●狹土 貞吉さん、田近 毅さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、向井 公規さん、下屋 勝比古さん、住田 泰典さん、黒木 正人さん、松川 英明さん、高桑 光範さん

岡田賛三さんの著書「よみがえる飛騨の匠～地場産業を復活させる 6 つの改革」が幻冬社から出版されました。お祝ひ申し上げます。市内書店で絶賛発売中です。

●遠藤 隆浩さん、向井 公規さん、住田 泰典さん、杉山 和宏さん、榎坂 純一さん

早いものでノエミの来日から間もなく 1 ヶ月を迎えます。ホストファミリーの下屋さんに感謝と共にエールを贈ります。